

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実績

No	事業名	事業概要	実施計画額 単位:円	実績額 単位:円	差額 単位:円	事業実績及び効果	
						何をしたか、成果(アウトプット)	左記の結果どうなったか(アウトカム)
1	1万円商品券配布事業	町内緊急経済対策として、基準日(6/1)時点の全町民に対して町内で使用できる1万円分の商品券を配布し、町民の生活支援策とする。同時に町内需要を喚起し、小売事業者等の事業継続に資する。	26,000,000	25,165,168	△ 834,832	商品券(500円×20枚=10,000円×2,550人分、51,000枚)25,500,000円分作成、24,947,500円(49,895枚)活用された。	町民の生活支援の一助となり、町内経済に24,947,500円の経済効果をもたらした。
2	全町民の生命を守る感染防止対策事業	全町民及び医療・福祉施設等へのマスク配布及び消毒用品等の配布を行うことで、町内での新型コロナウイルス感染症患者発生防止策とする。	4,000,000	4,878,263	878,263	不織布マスクを全町民に5枚ずつ配布。公共施設及び医療福祉施設で活用するフェイスガードや消毒液等を購入し配布。	新型コロナウイルス感染拡大初期のマスク不足時における、住民の感染症防止対策の一助となった。
3	町有施設サーモグラフィカメラ導入事業	町有施設及び小中学校において、施設入り口にサーモグラフィカメラを設置し、入場時の検温実施体制を確保する。	2,387,000	2,222,000	△ 165,000	タブレット型サーモグラフィカメラ9台、顔認証付きサーモグラフィカメラ1台購入。町内公共施設に設置	公共施設利用者の安心・安全の確保ができた。
4	公共水道料金減免事業	外出自粛及び手洗いうがいの勧奨で使用料の増えた公共水道料金を1ヶ月分減免することで町民の生活支援策とする。	6,108,000	6,107,360	△ 640	町内一般家庭1,241軒の水道料を減免した。	コロナの影響を受けている町内一般家庭の生活支援ができた。
5	町役場等公共施設空間安全・安心確保事業	町役場等公共施設窓口への飛沫防止パネルの設置、感染予防及び消毒体制を確保する。	300,000	297,870	△ 2,130	役場内にアクリル仕切板8枚、飛沫防止パネル15枚を設置、庁舎消毒用の消毒液34リットル及び噴霧器等をした。	役場庁舎利用者の安心・安全の確保ができた。
6	町伝統芸能「荒馬」に係る関係人口の深化・創出事業	関係人口の受け皿となっている荒馬がコロナ禍により中止となったため、関係人口との交流が途絶えないよう、動画を作成し関係人口への送付及び配信することで、既存の関係人口との絆を深化させると共に新規の関係人口創出にも資する。	4,668,000	4,668,950	950	荒馬PR用及び関係人口向け動画17本作成(動画再生回数約5,000回)、荒馬特設サイトの開設	関係人口の方から「嬉しい」「元気をもらった」「また行きます」等の声が多数あった。
7	WEB会議等リモート環境整備事業	コロナ禍である現在の状況の中、リモート環境を活用したweb会議を行うことが出来る環境を整備し、外部との会議や研修等に活用することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止をはかる。	696,000	682,000	△ 14,000	WEB会議専用の大型モニター及びスタンド、パソコン、WEB会議キット一式を導入	WEB会議に対応できるようになり、外部との対面式での会議等が減少し、感染防止対策となった。
8	プラグインハイブリッド自動車導入事業	現在役場では蓄電設備を所有していない。蓄電設備として利用可能な車両であるプラグインハイブリッド車を導入し、万が一の際には自走により停電地区まで移動し、避難所での感染症予防に必須となる空調設備を含めた機器等への電源供給を可能とする。また、災害・医療用緊急エアートントへの非常時の電源供給も可能とする。	6,020,000	5,830,000	△ 190,000	プラグインハイブリッド車1台及び電源供給キット1式を導入	災害時等でも感染対策を徹底した避難所運営が可能な体制を確保できた。
9	公共施設等空調設備整備事業	災害発生時には避難所となる公共施設等や公共インフラとして町になくてはならない医療福祉施設等において、感染症対策上でも必要となる空調設備等が未整備の施設に、空調設備及びオゾン空気清浄機を整備し感染症に対する備えとする。	35,271,000	32,568,250	△ 2,702,750	町内公共施設4か所へ換気対策として空調設備を導入、クリーンパーテーション30台、エアロシールド7台、光触媒除菌脱臭機90台、オゾンガス発生型空気清浄機21台購入、医療福祉施設7施設へ光触媒脱臭機及びオゾンガス発生型空気清浄機を譲渡。	町内公共施設4か所と医療福祉施設7施設の感染防止体制が確立できた。
10	役場庁舎空調設備整備事業	多くの町民が日頃から来庁する場所であり、更には緊急時の避難場所、防災拠点である役場庁舎には、感染症予防のために必要な空調設備が未整備のため、空調設備及びオゾン空気清浄機、加湿器を設置する。空調設備の設置に、庁舎の給電能力に大きな不足が発生することから、高圧受電設備を設置する。	32,821,000	31,670,650	△ 1,150,350	役場庁舎の換気対策として空調設備を導入、オゾンガス発生型空気清浄機5台を導入。	他の感染対策事業と合わせて、役場庁舎内の感染防止体制が確立でき、来庁者の安心・安全を確保できた。
11	災害・医療用緊急エアートント導入事業	災害・医療用緊急エアートントを導入することにより、新型コロナウイルス感染症等が発生した際に隔離された緊急医療対応場所を確保することができる。	6,545,000	6,479,000	△ 66,000	災害時に新型コロナ罹患者が発生した場合にも対応できる災害用エアートントを導入。	災害時の感染症対策体制の確立ができた。

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実績

No	事業名	事業概要	実施計画額 単位:円	実績額 単位:円	差額 単位:円	事業実績及び効果	
						何をしたか、成果(アウトプット)	左記の結果どうなったか(アウトカム)
12	GIGAスクールリモート環境整備事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台端末及び遠隔学習の実現。	7,159,000	5,434,900	△ 1,724,100	国が推し進めるGIGAスクール構想に対応できるタブレット80台、配信用ディスプレイ2台、スタンド2脚、ヘッドセット2台、付属設備2式を導入	感染症拡大時にでも児童生徒の学習が遅れないように対応できる体制が確保できた。
13	学校保健特別対策事業費補助金	学校給食センターにおいて、3密対策として空調設備等を導入し、施設内の空気の循環を促すとともに熱中症対策も兼ねるものとする。	430,000	325,160	△ 104,840	給食センターの換気対策としての空調設備1台、冷却ベスト10着を導入。	給食センター従業員の感染防止体制が確立できた。
14	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の影響等による休校等で、児童生徒の学習の遅れを出さないために、遠隔教育用機器を購入・整備する。	2,704,000	3,333,000	629,000	国が推し進めるGIGAスクール構想に対応できる配信用ディスプレイ5台、スタンド5脚を導入	感染症拡大時にでも児童生徒の学習が遅れないように対応できる体制が確保できた。
15	今別町出身大学生等支援金給付事業	新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、アルバイトによる収入が減少し、経済的に困窮している町出身大学生等の修学継続を支援することを目的とし、1人当たり100,000円の支援金を給付する。	5,000,000	2,100,000	△ 2,900,000	町出身大学生等50名へ100,000円給付を想定し、21名へ給付を実施した。	コロナ禍の影響を受けた学生への修学継続支援につながった。
16	今別町立小学校及び中学校空調設備設置事業	児童生徒の学びの場である小中学校は、3密状況及びクラスターが発生しやすい環境であるが、当町立学校では新感染症対策上でも必要となる空調設備が未整備であるため、空調設備を整備し、感染症に対する備えとする。	5,450,000	5,379,000	△ 71,000	小中学校の換気対策として空調設備計11台を導入。	児童生徒が感染対策面において安心して学習に集中できる環境を確立できた。
17	今別町中央公民館空調設備設置事業	災害発生時には避難所ともなる町中央公民館が、感染症対策上でも必要となる空調設備が未整備であるため、空調設備を整備し、感染症に対する備えとする。	2,309,000	2,200,000	△ 109,000	今別町中央公民館の換気対策として空調設備計5台を導入。	公民館利用者が安心・安全に利用できる体制が確立できた。
18	家族への特産品等贈り物支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により帰省できない町外で暮らす家族・親戚等へ、町特産品等を送る際に発生する送料を支援し、町外離れた親族等との絆を深めるとともに、町特産品等の需要喚起に資する。	1,905,000	423,200	△ 1,481,800	252世帯、計423,200円分の特産品送料を支援した。	特産品の町外需要を発掘し、特産品全体の需要を喚起した。
19	町福祉バス増車事業	現状1台しかない町福祉バスを増車することで、町民等輸送時の3密回避対策とする。また、今後見込まれる広域連携した福祉活動時の輸送キャパシティ確保対策も兼ねるものとする。	25,179,000	24,750,000	△ 429,000	福祉バス1台を増車導入。	町民輸送時の3密回避対策となった。
20	荒馬まつりに係る関係人口の3密対策事業	「荒馬まつり」の開催に際して、全国から集結する関係人口の受入時の宿泊場所(大部屋雑魚寝)での問題を解決することを目的として、1人用テントを購入して3密対策とする。	3,883,000	2,403,500	△ 1,479,500	1人用テント50張、3~4人用テント15張、就寝用マット100個購入。	荒馬まつり開催時の関係人口の受入体制確保の一助となった。
21	イベント及び災害用テント買い増し事業	現状町で所有しているイベント用テントを買い増すことにより、イベント時の3密回避対策とし、災害等が発生した際の一時避難用の仮設テントとしても活用する。	2,700,000	2,640,000	△ 60,000	ワンタッチテント15張購入。	イベント用テントを買い増すことで、イベント時や災害時の密回避対策ができるようになった。
22	緊急時用折りたたみ式ストレッチャー・折りたたみ式ベッド購入事業	新型コロナウイルス感染症の発生時や、避難場等で緊急時に使用する折りたたみ式ストレッチャー及び診察用折りたたみ式ベッドを購入し万が一に備える。	411,000	398,200	△ 12,800	患者搬送用ストレッチャー2台、折り畳みベッド2式購入。	新型コロナ等の急患発生時にも対応できる体制が確保できた。
23	臨時休業に伴う緊急学習支援事業	新型コロナウイルス感染症に係る学校の臨時休校等による児童の学習遅れをサポートするため非常勤講師を採用する。	3,770,000	3,692,229	△ 77,771	臨時休校対応としての臨時講師1名を採用。	コロナ禍の影響により学習の遅れが出ていた児童の学習支援の一助となった。
24	感染症対策任意予防接種促進事業	新型コロナウイルス感染症と所見が似ている季節性インフルエンザの流行を防止し、医療提供体制のひっ迫を阻止するためにインフルエンザの予防接種に対して助成する。	4,000,000	3,113,470	△ 886,530	1,419人が季節性インフルエンザの予防接種を実施し、助成を行った。	町内の感染症対策の一助となり、医療体制が脆弱な当町の医療提供継続の一助となった。